



「おひさまきらきら えがおいっぱい なんざんようちえん」

## 南山幼稚園3月の園だより

平成29年2月28日



### 新しい旅立ちの時

南山幼稚園長 明田川 輝美

園庭の草木も少しずつ春の温かい日差しを感じ、芽吹き始めてきました。年長さくら組さんが、幼稚園に登園するのは修了式までわずか12日、年中ばら組・年少りんご組さんは、終業式まで後15日となりました。

振り返れば4月、りんご組さんは、保護者の方と別れるのが辛くて泣いている子が何人もいました。けれども今では、朝の会に保護者の方と離れて、きちんと一列に整列して参加することができるようになりました。「ひとり」から「集団」への意識が知らず知らずのうちに身に付いてきたことに成長を感じます。それでも保護者の方との別れ際には、「タッチ」と「ハグ」が今でも日課になっているご家族がいてとても微笑ましく感じられます。親の愛情を肌で感じ、エネルギーをいただいでから、子どもたちは園生活を頑張っているようです。

幼稚園で真ん中のばら組さんは、さくら組のお兄さんお姉さんがいて、下には可愛いりんご組さんがいましたが、後12日でいよいよ最年長になります。恥ずかしがり屋さんが多いばら組さんですが、さくら組さんから司会なども引き継ぎ、きっと、りんご組さんをリードして頼もしいお兄さんお姉さんになってくれることでしょう。これからの活躍が楽しみです。

さて、さくら組さんは幼稚園生活を締めくくり、小学校へ向けて新しい旅立ちの時がやってきました。南山小学校との併設園として、いつも目の前に小学生がいて、毎月の避難訓練や学校行事への参加、交流活動、年7回の給食体験などを行ってきましたので、小学校に対する不安感は他の幼稚園・保育園の園児よりは少ないことでしょう。

就学するにあたってぜひ押さえておきたいことを挙げておきます。

- 早寝・早起き・朝ごはんなど、規則正しい生活習慣を身に付けましょう。
- 「おはよう」などの挨拶、「ありがとう」「ごめんなさい」をはっきり言えるようにしましょう。
- 相手の話を聞く、自分の言葉で表現し相手に伝えるなどコミュニケーションを取れるようにしましょう。
- 相手の気持ちを考え、思いやりをもって行動できるようにしましょう。

さくら組さんは、南山幼稚園から各小学校へ自信をもって送り出すことができます。

小学校へ行っても、園で培った心情・意欲・態度を忘れずに、自分の良さを生かし伸ばしていってほしいと願っています。ランドセルを背に、通学する姿を思い描くだけで幸せな気持ちになります。新しい旅立ち心から応援しています。



#### 《 豆まき会 》2月3日

突然現れた鬼（用務主事）にも怖がらず、元気いっぱい豆まきをしました。泣き虫鬼・おこりんぼ鬼・恥ずかしがり鬼など、自分の中の鬼を退治しました。りんご組さんは自分で作った鬼のお面をかぶって校長室や職員室などにやってきて、大人を驚かせることも楽しんでいました。季節にちなんだ日本の伝統文化行事はこれからも大切にしていきたいと考えています。



#### 《 地域防災訓練 》2月4日

九つの町会・自治会・地域の方々、南山小防災協議会、麻布消防署・消防団、麻布地区総合支所、民生委員、NTT東日本の方々にご協力いただき、南山小学校と合同で地域防災訓練を実施しました。

起震車では震度7の強い揺れにも、指示通り机の脚をしっかりと握りしめ頑張っていました。保護者・地域の皆様ご協力ありがとうございました。



#### 《 こども会 》2月10日・15日

りんご組さんの表現遊び「どうぞのいす」、動物になりきって演じたばら組さんの「もりのおいしゃさん」、小道具作りも頑張ったさくら組さんの「エルマーのぼうけん」、みんなたくさんのお客さんの前で堂々と表現することができ素晴らしいですね。盛大な拍手をありがとうございました。



#### 《 南山小学校体験授業 》2月13日・20日

年中ばら組さんが1年生と、年長さくら組さんが5年生と一緒に、南山小学校の図画工作専科教員から図工の授業を体験させてもらいました。園児なりに発想力・表現力をふくらませて、楽しく授業に参加することができました。また、さくら組さんは5年生と交流給食も実施しました。何回も給食体験を積み重ねてきているので、小学校へ行っても何でも好き嫌いなく食べられることを期待しています。

最後になりましたが、この一年間、保護者・地域の皆様には、本園への温かいご理解とご協力をいただきましたことに、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

＜今月は次のように保育します＞

◎3歳児 りんご組

- 友達や教師と一緒に遊びを十分に楽しむ中で、自分なりにやりとりをしようとする。
  - ・好きな遊びを楽しみながら、友達と思いが重なることや思いが違うことがあることを気付けるようにしていきます。自分の思いを受け止めてもらうことで気持ちを落ち着かせ状況を受け止めたり、友達とかかわるときに必要な言葉を知り使おうとしたりする姿を大切に指導します。
  - ・みんなと一緒に鬼遊びなどの学級全体での活動を楽しみ、友達と過ごす心地よさを感じる経験を積み重ねます。
- 身近にあるいろいろな春の自然を見付け、親しむ。
  - ・園庭や畑、南山の森などで小さな生き物の様子や草花の変化を見付けることを教師と一緒に楽しめるようにします。苺の苗を植え成長を見守ったり幼児の発見や感動に共感したりしながら、いろいろな春を見付けて楽しめるようにしていきます。
- 大きくなる喜びを感じ、進級を楽しみにする。
  - ・自分でできるようになったことを教師が認めながら、ばら組に進級することを楽しみに思えるようにしていきます。また、さくら組に「ありがとう」の気持ちを伝えることができますようにします。

◎4歳児 ばら組

- 友達と思いや考えを伝え合いながら、遊びを進めていくことを楽しむ。
  - ・自分の思いを伝え受け入れてもらったり、相手の思いを聞き受け入れたりしながら遊びや生活を楽しめるようにします。学級の仲間としての意識をもち、一緒に活動する楽しさを味わえるようにします。
- 誕生会の司会やお別れ会の準備をしたり年長組に当番の仕方を教えてもらったりして、進級することを楽しみにする。
  - ・さくら組が行っていたことを教えてもらい自分たちでやってみることを通して、進級することへの喜びや意欲を高められるようにします。
  - ・今までさくら組がしてくれたことに感謝し、ありがとうの気持ちをもってお別れ会を計画します。そして、心を込めてプレゼントを作ったり、準備を行ったりしていきます。
- 年長組を祝い気持ちや感謝の気持ちを込めて、修了式に参列する。
  - ・修了式では、さくら組にお祝いの言葉や歌を送ります。憧れの年長組の晴れの姿をしっかりと見ながら、修了式にふさわしい態度で参列できるようにします。

◎5歳児 さくら組

- 修了までの日々を大切にしながら、学級の友達との遊びや生活を楽しむ。
  - ・幼稚園での1日の生活に見通しをもち、進んで行動しながら充実した日々を送れるようにします。みんなでやりたい遊びなどを相談し、一緒に楽しみながら修了までの一日一日を大切に過ごしていきます。
- 自分たちの成長の喜びと感謝の気持ちをもって修了式に臨む。
  - ・修了式の取組では幼稚園の思い出を振り返り、自分たちの成長を感じられようにしていきます。修了式には、今までお世話になった方々へ感謝の気持ちを表しながら臨めるようにしていきます。
- 身近な自然の中でいろいろな春の訪れを発見し、興味・関心をもつ。
  - ・花の芽やつぼみの膨らみ、カエルの卵、気温の暖かさなど、身近な自然の中に春を見付け、友達と伝え合うことを楽しみます。そして、友達と春の訪れを味わえるようにします。

＜南山幼稚園と南山小学校 連携の生活のめあて＞

「使ったところをすみずみまできれいにしよう」